



町下野球場完成記念式典

昭和53年度に設置された「町下野球場」は、町民を中心に町営野球場として多くの野球チームに身近な施設として親しまれ、活用されています。毎年、1万人を超える利用者があり、なかには他県からの合宿利用もあります。この球場も、設置以来30年以上が経過し、経年劣化による損傷が激しく、危険性も高くなり、プレーに支障をきたす球場となっていました。

そこで、より安全性の高い球場へ全面的に改修することにより、野球をはじめ様々なスポーツイベントを通じての交流活動を活発にし、地域の活性化を促進する交流拠点施設とするために、改修事業を実施しました。

さわやかな春風と日差しのおかげ、5月7日に町下野球場で同野球場の完成記念式典が行われ、町内のスポーツ少年団や只見中学校と只見高等学校の野球部、さらに学法石川高等学校野球部など関係者が出席しました。

はじめに、教育委員会から改修事業の概要について説明があり、続いての主催者あいさつで目黒町長は「皆さんに親しまれる施設にしたい。スポーツ交流で地域の活性化と町の発展を図る。多くの利用者に試合をしていただくなかで、新たな出会いや友情、ドラマが生まれることに期待したい」と述べました。次に、五十嵐拓町議会議長が祝辞を述べ、目黒町長ら関係者によるテープカットが行われ、完成を祝いました。

最後に、出席されたスポーツ少年団と各学校の野球部へ記念品のボールが、目黒町長から贈られました。

式典のあと、只見高校と学法石川高校の記念試合が行われ、目黒町長の始球式により試合がスタートし、新しい土が敷き詰められ、生まれ変わったグラウンドを確かめるように両校の選手たちは気合の入った声を掛け合いながら全力でプレーしていました。

試合は2試合行われ、合わせ

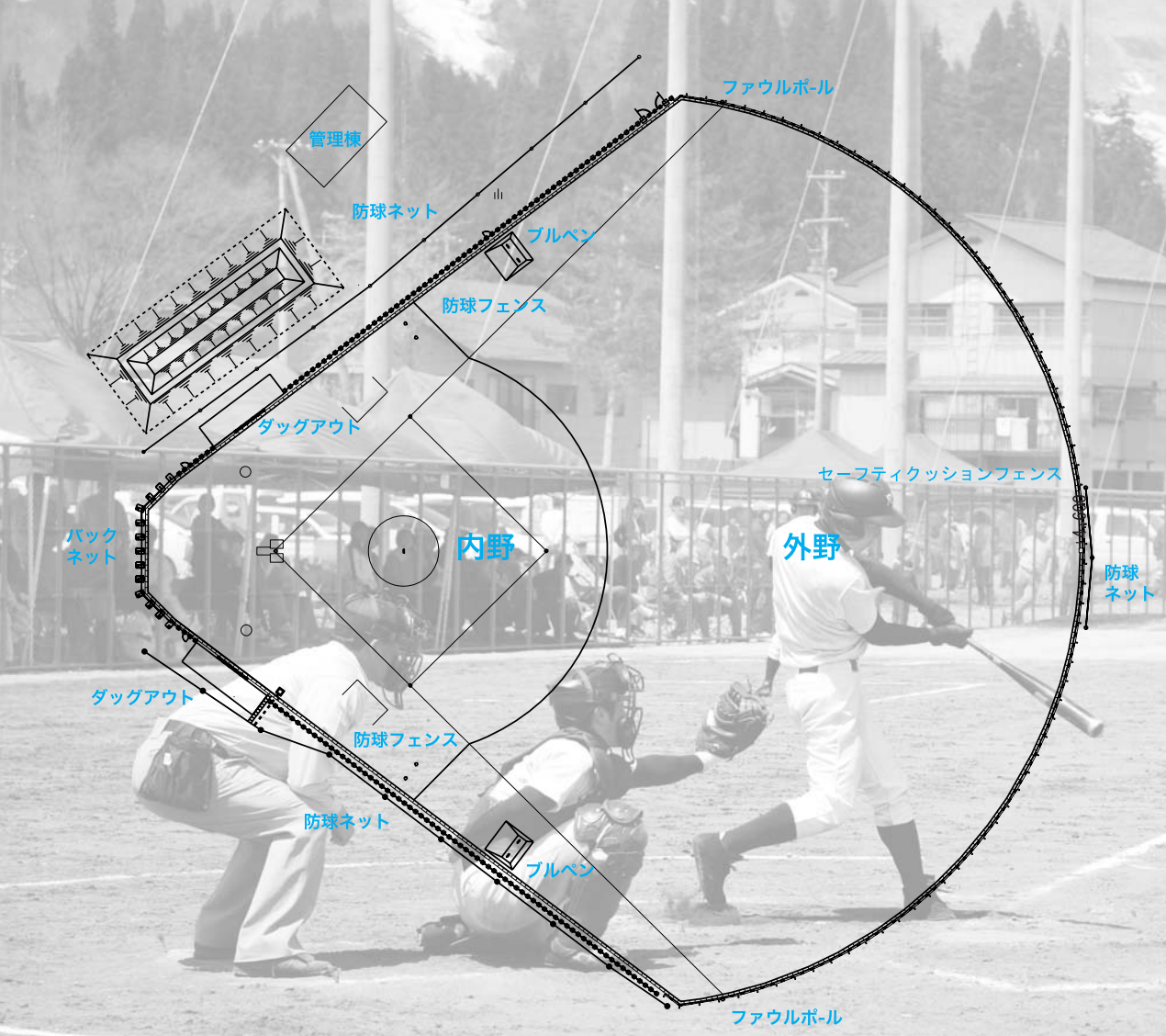
て4本のホームランが飛び出すなど記念試合にふさわしいハイレベルなゲーム展開に、観客から大きな声援が送られていました。改修後の球場で記念となる第1号ホームランを記録した只見高校2年の「五十嵐大貴さん」に感想を聞きましたので紹介します。

内野と外野に異なる良質の土を敷き詰めたすばらしい球場ですので、皆さんの積極的なご利用をお願いします。



完成を祝いテープカット

スポーツ交流の拠点施設が完成



仕様

- ・グラウンド面積 計 10,937.5㎡
(内野部：2873.51㎡ 外野部：8063.99㎡)
- ・フィールド 両翼 90m 中堅 115m
- ・スコアボード 1基
- ・舗装 内野：精黒土混合土 外野：粒度調整土
- ・外野フェンス 高さ：2m クッション：厚さ42mm
- ・防球ネット 1塁側：高さ8m 3塁側：高さ11m

改修内容

1. 路面（グラウンド）全面舗装工事
内野、外野に異なる質の土を導入、硬式球の対応も可能
2. 排水工事（暗渠工事）
地下排水を整備、雨が降った時の水はけが良好
3. バックネット・サイドネット入替工事
耐雪型のフェンスであり、年間を通しての設置が可能
4. 防球ネット新設工事
打球が直接グラウンド外へ飛球するのを防ぐため、1塁側に高さ8m、3塁側に高さ11mの防球ネットを新設
5. セーフティウォール（防護材）装着工事
既存の外野コンクリートフェンスの表面を補修し、その上に厚さ4.2cmの防護材を装着
6. ダッグアウトの改修
これまでよりも大きく、またダッグアウト前へも安全性を向上するために防球フェンスを設置
7. スポーツトラクタの導入
良好なグラウンドの維持管理を図るため、スポーツトラクタを導入



始球式を行う目黒町長

事業費

事業名：新「歳時記の郷・奥会津」活性化事業補助金

項目	事業費	うち補助金額	うち町負担額
工事費	112,162,050円	74,774,000円	37,388,050円
備品購入費	4,042,500円	2,695,000円	1,347,500円
計	116,204,550円	77,469,000円	38,735,550円



第1号ホームラン
おめでとう

五十嵐 大貴さん
(只見高2年)

▷打った感触は良かったが、打球を見ていなかったのが驚いた。初めて打てて良かった。これからは自分ができることを一生懸命やりレベルアップを目指します。…(大貴さんは2試合目もホームランを打ちました)